

## どうなる東京都知事選

脱原発候補一本化は、脱原発の実現のみならず、日本が再び戦争に突入する危機を回避する可能性を開く道、との認識です。本日の東京新聞に掲載されました鎌田慧さんの思いを共有します。

2月3日、「脱原発都知事候補に統一を呼びかける会」が、脱原発候補統一を求めるアピールをしました。その19人の有志に敬意を表します。脱原発を訴える宇都宮けんじさんと細川護熙さんが、その呼びかけに応え、明日なんらかの声明を出してくださる事を切に祈っています。

スープのよろずや「花」代表 伊藤真美

29

特報

単11版

2014年(平成26年)2月4日(火曜日)

東

### 本音の コラム



ヨーロッパや中国の人びとは、苛烈な歴史を生き抜いてきた。島国日本はそれらの国にくらべると、血で血を洗うようなひどいことを体験することは少なかつた。

といっても、ヒロシマ、ナガサキ、沖縄、あるいは各都市の大空襲の惨状はむごいが、それは指導者の降伏の決断が遅れたからで、侵略されたわけではない。

日本軍に侵略された中国は、抗日統一戦線によって抵抗し、ついに勝利を収めた。日本は中国の国民党と共産党の周到な「合作」の前に敗退した。これからの日本はどくなるのか、戦争の時代を知っている、戦争によ

また 慧  
鎌田

### 統一の力

て肉親のいのちや青春を奪われたひとたちは、最近の日本の歯止めのない、極端な軍国化に大きな危機感をもっている。さらにはあれだけの原発事故が発生し、まだなんにも収束していないのに、フクシマのひとつたちの不安な生活を尻目に、まだ原発の再稼働と輸出を叫ぶ、信じがたいほどに傍若無人な内閣がのさばっている。

なぜか。戦争と原発に反対する側力が分散しているからだ。とにかく、わたしたちはフクシマのあと、分裂の歴史を運動の負の歴史として乗り越え、妥協し分裂しないように努力してきた。

1プラス1は3。その信頼感と明るさが、統一の力である。最後まで統一をもとめ、この歴史的な瞬間に勝利したい。

(ルポライター)